

第二十一回 大文字送り火能

ろうそく
のう
蠟燭能

葵上

無明之祈

金剛永謹

京都の夏の風物詩

『五山の送り火』とともに

蠟燭の灯りのもと

幽玄美溢れる能の世界

■日時 令和六年八月十六日(金)

午後五時開演(午後四時開場)

■会場 金剛能楽堂

京都市上京区烏丸通中立売上ル(京都御苑西向かい)

◎終演後、午後八時頃から向かいの京都御苑より大文字送り火がご覧頂けます。



AOINOUE

[チケット料金] ※全席指定 正面席 7,000円/脇正面席 6,000円/中正面席・2階席 5,000円/学生券(2階席) 3,000円

[チケット取り扱い] チケットぴあ/https://t.pia.jp/ [Pコード: 526-991]

[申込み/お問い合わせ] 金剛能楽堂 TEL 075 (441) 7222 FAX 075 (451) 1008 https://www.kongou-net.com

[主催] 公益財団法人 金剛能楽堂財団 [後援] 古典の日推進委員会



第二十一回 大文字送り火能 (ろうそくのろう燭能)

令和六年八月十六日(金) 午後五時始

於 金剛能楽堂

解説 種田道一

◆ 蠟燭能

(照日の巫女) 宇高德成
(六条御息所の怨霊) 金剛永謹

葵上

無明之祈 (横川の小型) 福王和幸
(朝臣) 喜多雅人
(大鼓) 谷口正壽 (太鼓) 前川光範
(小鼓) 曾和鼓堂 (笛) 左鴻泰弘

間 (左大臣家の男) 茂山千五郎

豊嶋幸洋 惣明貞助 今井克紀
後見 廣田幸稔 宇高竜成 種田道一
向井弘記 地謡 豊嶋晃嗣 金剛龍謹
山田伊純 廣田泰能

◆ 葵上 — あらすじ —

〔前場〕
光源氏の正妻である葵上が物の怪にとりつかれ病に臥せている。一向に快方に向かわないので「様の法」の名手、照日(てるひ)の巫女を招き占わせると、六条御息所の生霊が破れ車に乗って現れる。六条御息所は源氏の愛を失った悲しみと恨みを葵上の枕元で責めさいなみ、魂を抜き取るうとする。
〔後場〕
急ぎ横川小聖が呼ばれ加持祈禱が始まると、鬼の姿となった御息所が現れ小聖と激しく争うが、ついに祈り伏せられ、心を和らげて成仏する。

〔見どころ〕
六条御息所の恋慕と嫉妬の執念を描く。恐ろしい鬼女の姿と化しても、高貴な女性の気品漂うしっとりとした品位が要求される曲である。
また、御息所の心の内面に焦点をあてるため、葵上を演じる役者は登場せず、病に臥せる葵上を舞台に置いた小袖で表現するところにも能の優れた省略法や演出の巧みさがみられる。
『源氏物語』の葵の巻を典拠とする名曲として、最も人気のある曲のひとつである。

交通アクセス



駐車場はございません。
京都御苑に有料駐車場あり

- 地下鉄烏丸線「今出川」駅下車6番出口より南へ徒歩5分
- 市バス「烏丸今出川」停留所より南へ徒歩5分

催しの御案内

◆ 第七回金剛定期能 特別公演

日時：令和6年9月8日(日) 午後1時開演
演目：能「定家」金剛永謹

◆ 第八回金剛定期能

日時：令和6年10月13日(日) 午後1時開演
演目：能「大蛇」廣田泰能
能「融」 金剛龍謹

会場：金剛能楽堂

料金：一般 / 前売 5,500 円、当日 6,000 円
学生 3,000 円



〒602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上ル
TEL.075-441-7222 FAX.075-451-1008
<https://www.kongou-net.com>